

旭川医科大学病院の病棟業務

■全病棟(18看護単位)に常駐薬剤師を配置

常駐することで薬物治療のスタートからゴールまで一連の流れを把握し、最適な薬物治療となるよう介入することができます。

■病棟内での薬の専門家

薬剤に関するリスクマネージャーとして、病棟における薬物療法に関する責任を持って業務を行います。薬剤の投与設計、薬物間相互作用、注射薬の配合変化、注意すべき副作用の確認を行い、患者さん、ご家族からの問い合わせにも対応しています。患者さん、他職種にとって身近な存在です。

患者さんへの服薬指導時には、必要に応じて手技指導も併せて行い、アドヒアランスの向上に努めています。

カンファレンス
への参加

処方提案

TDM

患者中心の
チーム医療
への貢献

服薬指導
退院時指導

持参薬
チェック

PBPM

■PBPMの実践

先進的な取り組みを実施しやすい環境です。現在は持参薬の継続処方、使用された病棟常備薬など医師の処方オーダー支援業務を実施しています。

■チーム医療

普段からの病棟業務を通じて、職種間の相互理解が深まることで、スムーズな医療チームへの参加が可能となります。

薬物治療を一貫してサポート!